

熱海写真俳句撮詠物語

令和2年9月句会

優秀作・久喜更沙



いがぐり

毬栗のまん丸坊やひとりっ子

友人から自宅の庭で採れた立派な栗を頂いた。よく見ると毬の中には、まるまるとした栗がひとつだけ入っている。そう言えば、毬栗頭とか毬栗坊やとか、男の子の頭を称しての呼び名があったのを思い出した。何だか懐かしさを感じたので、食す前にカメラで撮影をした。すると、毬の中から母の愛に守られて育った栗がころりと出てきた。何だか少子化の日本を見る思いであった。